



倉二だより

学校だより

12月号

令和5年12月1日

舞鶴市立倉梯第二小学校



「秋の日はつるべ落とし」とはよく言ったもので、あっという間に暗くなり、最近では夕方5時半には真っ暗です。気温が8℃を下回り、昼夜の気温差が大きくなると紅葉が始まるそうですが、今年は季節外れの高い気温が続いたせいか、昨年より紅葉がゆっくりすすんでいるようです。学校のもみじ（校門を入れて右）

もまだ真っ赤にはならず、緑と黄と赤がグラデーションになっていてとても綺麗です。

5日（日）は、お忙しい中、舞鶴市長 鴨田 秋津様をはじめ多くのご来賓の皆様、地域の皆様、歴代の校長先生方、保護者の皆様にお越しいただき、「創立50周年をお祝いする会」を開催しました。第一部として「記念式典」を、第二部では地域の大人の方と4～6年生が、テーマにもとづいておしゃべりする「トーク・フォークダンス」を行いました。この50周年の記念の行事が、子どもたちと地域の方たちのつながりのきっかけになってほしいと実行委員の皆様が何度も話し合って計画してくださいました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。この記念行事を通して、たくさんの皆様に見守って



いただいていることや、自分たちは倉梯第二小学校の歴史の時間の中で学校生活を送っていること、そして自分たちがさらに新たな歴史を作っていることなどを、子どもたちなりに感じてくれたのではないかと思います。

27日（月）、人権旬間のスタートとして人権集会を行いました。12月1日（金）の参観日には、全学級が人権学習を行います。この学習をしたから、この取組をしたからといって、人権尊重の気持ちが育つものではありません。日々の生活の中で少しずつ少しずつ育まれていくものだと考えています。この人権旬間はその一つの機会にしたいと思います。

先日、掃除時間に「〇〇ちゃん、ちょっと悪いけどこっちも拭いてくれん。」という声が聞こえてきました。3年生の子でした。友達が一生懸命他のところの拭き掃除をしていることがわかったうえで、かけた言葉だったんじゃないかと思います。学校生活の中では、子どもたち同士のトラブルがあり、話を聞かなければならないことがあります。しかし、ふとした場面で、心が温まる子どもたちの素敵な様子を目にすることもたくさんあります。きっと私たちの見えていないところで相手を思いやる子どもたち同士の関わりがたくさんあるのだと思います。今年も残り1カ月になりました。12月も引き続き、地域、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。 校長 野田 千鶴 教職員一同